

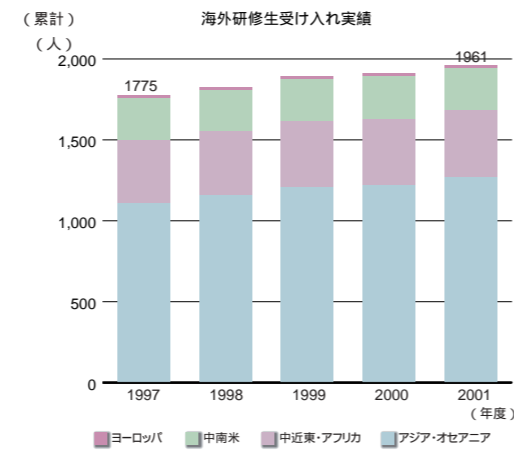
環境保全対策技術の海外移転

当社は、およそ40年間にわたり、国内の火力発電の環境保全対策や水力発電、送変電部門で培ってきた技術を海外の国々に移転してきました。

EU諸国の石炭火力発電所における、SO_x、NO_x低減技術等の環境対策技術協力や、酸性雨に悩む東欧諸国への最適な排煙脱硫設備の提案、さらに中国における高硫黄炭脱硫技術実証試験(通商産業省受託案件)の実施をはじめとする技術移転などを実施してきました。また、1997年の気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)で導入が決まった共同実施の一環としては、アジアやロシアにおける既設火力発電所の熱効率修復プロジェクトなどにも取り組んでいます。

これらの技術協力を通じて地域における発電効率の向上や大気汚染防止などの環境保全に貢献し、2001年度末現在で58カ国で累計199プロジェクトの実績を重ねています。

また、海外の国々から研修生を受け入れ(2001年度末累計1,961名)環境保全の重要性や具体的対策の普及にも努めています。



ハムトゥアン・ダム水力発電計画

実施中の主な海外プロジェクト

プロジェクト名	国名	実施期間
ブライ火力発電計画	マレーシア	00.10 ~ 04.02
ウォンピ火力発電計画	ベトナム	01.11 ~ 02.05
ウランバートル第4火力発電所改修計画	モンゴル	01.11 ~ 06.10
ラムタコン揚水発電計画	タイ	95.05 ~ 02.12
ブルリア揚水発電計画	インド	95.12 ~ 07.07
ハムトゥアン・ダム水力発電計画	ベトナム	96.04 ~ 03.08
ユンカン水力発電計画	ペルー	98.05 ~ 04.02
元水水力発電計画	中国	99.05 ~ 03.04
ピリピリ水力発電計画	インドネシア	00.01 ~ 05.04
水力発電所リハビリ計画	グルジア	00.03 ~ 03.07
水力最適電源化計画	スリランカ	02.03 ~ 04.02
紫坪鋪多目的ダム建設計画	中国	01.11 ~ 06.12
太陽光発電地方電化計画	ボツワナ	00.08 ~ 03.03

中国天石ボタ焼き火力IPPプロジェクト

中国において2001年5月に天石ボタ焼き火力発電所が運転を開始しました。

中国山西省靈石県は、中国で有数のコークスの産地であり、同地ではこのコークス生産に伴って発生する石炭屑(ボタ)が不法に投棄され、環境悪化が進み社会問題化しています。このプロジェクトは、廃棄物として排出されるボタを燃焼して5万kWの発電を行うもので、従来から同省太原第一発電所において高硫黄炭脱硫技術実証試験計画(通商産業省受託案件)で実績を有する当社に参画の要請があり、環境に配慮した資源節約総合利用型発電プロジェクトとして中国で初めての外資案件として成立したものです。

コークス生産の廃棄物として社会問題化していたボタの有効利用が促進され、景観など周辺環境の改善が図られるほか、ボタ・低品位炭の燃料使用を可能とする当社の高度な環境保全技術が活かされました。

海外における技術協力においては、本件のように相手方のニーズに合った技術を提供していくことが必要と考えています。



天石ボタ焼き火力発電所

天石ボタ焼き火力発電所

- (1) 地点: 中華人民共和国山西省靈石県
- (2) タイプ: ボタおよび低品位炭燃焼 循環流動床ボイラ火力発電 脱硫効率90%、脱塵効率99%
- (3) 出力: 合計5万kW(2.5万kW×2基)
- (4) 燃料: コークス生産に伴って廃棄されるボタ及び低品位炭
- (5) 運転開始: 1号機 2000年12月
2号機 2001年05月

当社の海外プロジェクト

